

の課題

14人が質す



イノシシ被害の田んぼ



矢山 武議員

●**矢山** 河川・道路の被害や農地の災害が発生し、早期の復旧をは

かる必要がある。河川についての対応と災害の対象とならないものへの対応は。
 ■**町長** 町道14カ所、河川6カ所で査定を受け、本年度中に復旧したい。農災が31カ所、裏山

Q 災害の状況と復旧の取り組みは
A 今年度工事を進め小規模は支援を検討

崩壊が9カ所で、復旧を進め、20カ所の小規模災害は支援を検討する。

Q 不作への対応
A 国が考えるべき・集落ぐるみの防護柵に支援

●**矢山** 米価の値下がりと不作。そして、肥料の高騰で厳しさが増している。引き続き農

業で頑張れる対応を町として考えては。イノシシ被害が増大しているが、対策強化を。

■**町長** 集落法人により、業として成り立つ新たな作物の導入が必要である。

イノシシの被害が多発している。新たに防護柵の支援を行い防止策と捕獲対策を強化し、捕獲は昨年2倍の100頭以上を見込む。

Q お年寄り・障害者支援の拡充を
A 障害者自立支援3%負担に

●**矢山** 弱者に厳しい町政を変えるべきで、これでは十分なサービスが受けられない。親の援助が必要な人や寝たきりの人の認定基準が厳しくなるのはおかしくないか。

■**町長** 障害者自立支援法で1割負担となっ

たが、3%程度の負担で、通院助成など行っている。
 後期高齢者は、保険料の9割軽減措置が実施され、被保険者の7割が対象。要介護認定は見直される。今後とも実情に即した施策の展開に努める。



町政

議員

一般質問



福田 豪議員

今回は、発生箇所が分散し、被害連絡が集中したため、一部で対応が不十分となった。

■町長 災害対応は、地域防災計画の定めにより、注意体制や警戒体制をとる。被害の拡大を最小限に抑えるため、状況把握と現場確認に努める。

●福田豪 7月の大雨災害を振り返り、危機管理は十分だったのか検証しておく必要がある。災害状況の把握と初期対応。災害発生予察や拡大防止など、適切な対応、処置はできたと考えるか。

Q 危機管理はどうなっている
A 意識と体制の強化を図る

この反省に立ち、より迅速な対応ができるよう危機管理意識を高め、体制強化を図る。

Q 地域の活力を創造しよう
A 整備されるなら活用はできない

●福田豪 小学校の統合が決定した。これにより閉校となる施設の活用に「子ども農山漁村交流プロジェクト」を導入してはどうか。

交流人口を増やすことで、地域を見つめ直し、新たな活力の創造につながるかと考える。一つの提案として考えるつもりはないか。
■教育長 子どもたちの社会性の育成や適切な人間関係の構築方法



閉校後の活用が望まれる学校施設

の習得の場として、長期宿泊体験は国としても進めている。

閉校となる校舎を集団宿泊施設として整備されるなら、積極的に活用したい。

■町長 住民に情報提

供するなかで、自ら選んでもらいたい、地域の活性化につながるものは活かす。しかし、すべてをそうするわけにはいかない。シンプル・イズ・ベストもある。



どうなるおた保育所



安佐長秀議員

Q 行財政改革推進プランの改正は
A 計画は前倒しで進んでいる

●安佐 政権交代でも町行政はゆるがないと言われるが、町民の視線でないように感じる。職員も適材適所である

の。か。管理体制が不備では。企業誘致も実現するの。か。
■町長 町民皆さんの

Q 教職員の不祥事・当町では
A 高い倫理観が求められ、あつてはならない

●安佐 不祥事の中に

ご理解とご協力、そして、職員の努力で健全財政体質へ進んでいる。借金が186億円程度まで減額したのも、協働の結果と捉えている。農外企業の進出も尾道松江線開通を視野に県と連携していく。

も、交通事故や保護者とのトラブルなど軽微な問題から、教育に支障を与えかねない事案があるのでは。

■教育長 県内では増加の傾向にある。懲戒処分にあたる事案は町内にはないが、不適切な行動について厳しい指導を今日まで4回行っている。「子どもたちは、私たちの姿を見て育ちます」の県のメッセージを受け止め、服務規律の厳正確保に努める。

Q おた保育所の閉所に
問題あり
A 見直しを計画で
定めている

●安佐 H18年の議会での発言では、一人でも通所者がいれば、閉所しないとの公約であった。閉所発言は保護者に対する軽視である。説明不足で、公正な行政執行と言えない。
■町長 H19年6月に世羅町保育所再編整備計画で、おた保育所を活用するとある。しかし、誘致した保育園

が、町立と同様なニーズに対応できるなら見直す予定定めていた。
H23年3月末日で、閉所する方針である。

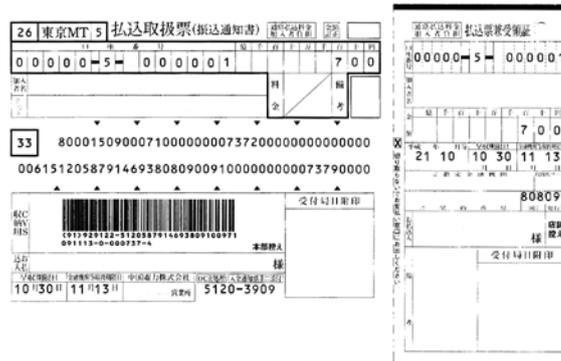
Q コンビニで納税を
A 三原市と検討する



能登哲夫議員

●能登 町税などの納税方法を考えて拡充す

べきと思う。他の自治体ではコンビニエンスストアでの納税もあるようだが、今後の計画はどうか。
■町長 現在は指定金融機関での口座振替納付と、ゆうちょ銀行で



コンビニ納付書のイメージ図

の口座振替納付および郵便振替払いと、窓口で直接納付をお願いしている。
三原市との広域電算システムを共同利用しているが、H23年にシステム機器更新を検討しており、コンビニ納付の導入について検討していきたい。



早期改良が望まれる大田道線

Q 大田小統合校の周辺整備は
A 早期に駐車場と大田道線の
整備を検討したい



徳光義昭議員

●徳光 統合後の甲山小、中央小、大田小の増改築、用地整備など、計画案が示され現地調査をした。

特に、大田小統合には重大課題がある。
①大田小屋内運動場の用地選定は②大田小統合校に早期駐車場の整備を③町道大田道線の早期改良工事を④大田地区にスポーツ広場の整備を。
■教育長 ①5カ所の用地を検討した。主に現体育館を解体し建築する案は、約10ヵ月授

●西田 校庭の芝生化が全国的に広がっている。メリットは①子どもたちの遊び場になる②クッションとなり転



西田美喜男議員

Q 学校の校庭を芝生化に
A あらゆる角度から検討する

業ができない。また、他に代替え施設の利用も困難である。最適候補地は現校舎北の民有地を取得し建設する案だが、地権者の理解が必須条件である②学校周辺の公共用地では不足する。体育館建設地に併設すれば可能で、早期に用地交渉したい③大田道線は狭隘であり、統合後の通学バス路線、通学路として対策が必要と認識してい

●西田 校庭の芝生化が全国的に広がっている。メリットは①子どもたちの遊び場になる②クッションとなり転
●教育長 校庭の芝生

る。
H22年度からの新過疎法の事業計画、財政計画のなかで調整、検討したい④大田は人口も多く少年野球、サッカー、グラウンドゴルフなど13団体が利用調整している。合併前からグラウンドの要望があった。今後、財政状況や具体的計画を含め、町全体のことと捉え検討したい。

●西田 火野女井堰は世羅町賀茂と大和町境の一級河川、芦田川改良事業でH6年度に事

Q 火野女(ひのめ)井堰の早期改良を
A 変更説明会の開催をする

●西田 火野女井堰は世羅町賀茂と大和町境の一級河川、芦田川改良事業でH6年度に事

化は、子どもの身体や心だけでなく、地域環境にも良い効果を与え



芝生化の校庭 (豊平南小学校)

●町長 河川改修予算が縮減され、H20年度末、事業進捗率は39・5%。H21年度は1千万円の予算で護岸整備が予定されている。井堰本体は、当初ゴム製の可動堰で計画されたが、操作性や経済性を考慮し、ポンプによる取水方法に変更を予定。現在、計画変更について、関係者に説明会の開催を代表者と協議中である。

Q 都市に事務所開設を

A 費用対効果が望めない



中村幸雄議員

●中村 少子高齢化、過疎化が進む我が町の次なる挑戦、課題解決の切り札は都市部にある。北九州や関西方面の都市部へ事務所を開設して、職員を派遣し、現地での情報発信と営業活動を行う考えはな

いか。
■町長 現時点では財政的および費用対効果

の面から困難である。世羅町観光協会の法人化への移行を来年度には具体化し、専門の事業所、および商工会・観光協会・町内各種団体との連携・協力のもと取り組んでいく。

Q 新型コロナウイルスの対応は万全か

A 安全・安心に万全を期す

●中村 死亡例も報道されるなか、集団感染となると住民の生活に多大な影響が出ると思われる。

町の対応・対策は。

■町長 世羅町感染症連絡会議において、学校での集団感染予防対策の徹底、住民への感染防止の啓発の重要性、早期の体制整備について協議し、無線放送・ケーブルテレビ・ホームページなどによる情報提供に努める。

また、町内関係機関による連絡会議を開催する。そして、各施設での感染防止対策の徹底、および適切な医療機関の受診について協議し連携強化を図る。

●仲行 新型コロナウイルスは静かに感染を拡大し、今後急速に増加することが懸念される。本町に於ける対策は万全か。行政内部と医療機関など外部との連携は万全か。

■町長 今春より、県



仲行 洋議員

Q インフルエンザに対する危機管理は段階に応じて行動する

危機管理対策本部の設置を受け、世羅町感染症連絡会議を設置し、情報収集、および感染防止策の協議を行ってきた。

●仲行 名誉町民の選定基準は。また、現在町内外で功績をつみ活躍されている方を、町民に知っていただくため、パネル展示などをしてはどうか。

■町長 推薦基準は①国・県・本町の行政に関し参画し功績があったもの②教育、学術、技術芸術の発展、産業文化の振興または社会の進歩に偉大な貢献をした者③私財を投じて公共施設を設け、公共の福祉の増進。または社会公益上顕著な功績があった者である。

現在活躍している方は、表示するかは別として、候補者名簿は整理する必要がある。

Q 名誉町民の基準は具体的な基準は条例で決めている



現在の名誉町民



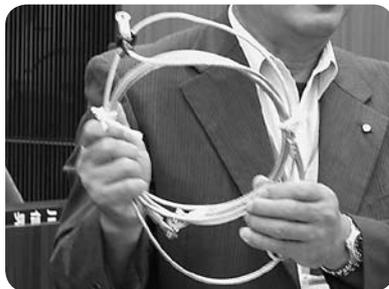
各施設に設置

Q イノシシの被害を最小限に

A 提案を尊重する

●**福田義** 全町でイノシシの被害が増えている。対策は。
 ①最近のイノシシの駆除状況 ②イノシシによる被害状況 ③狩猟免許の取得状況は。

他の自治体では免許取得補助・くくり罠などで効果を上げている。検討してはどうか。



くくり罠



福田義人議員

■**町長** ①今年の7月までの捕獲頭数は69頭 ②被害総額1697万円 ③免許取得者100名前後。
 集落ぐるみ被害防護柵の設置など支援する。捕獲対策の強化を

Q 世羅とくたく商品券に工夫を

A 2回目の発行は注意する

■**町長** 入所児童の減少により「5保育所1分園」でスタート。入所基準により入所に対応している。
 子育て支援アンケートを実施し細やかな保育サービスに努める。

■**福田義** 4月から世羅中央病院の医師が拡充され、患者が増加し経営改善がされているが、全国的には医師不足。地域の医療福祉を守って行くには、地域医療を育む意識が必要と思うが。

Q より細かな保育サービスの充実を
 A 保育サービスの充実を
 保育の今後を問う。

●**福田義** 世羅町の中心地にある幼・保育園は民営化されている。今後民営化が進めば中心部の保護者は公立保育所入所の選択余地がなくなる。



岡田武士議員

■**岡田** 前回発行の商品券は、一部町民の利用に終わったのではないかと。沢山の人が利用できるようにすべきだ。

何十枚も家族で購入されたら聞き、もったいなく全体に行き渡る工夫が必要だ。



売上げがアップ

活用し、商工会が事業主体で取り組んだ。住民の関心を引き、喜ばれ商店の売り上げがアップした。

■**町長** 緊急経済対策の一環として交付金を

Q 小学校統合の準備は
 A 補正予算の適用を受ける

●**岡田** 統合により山積みの施設整備であるが、起債など沢山の借金の建設であると思う。今後の財政には考慮すべき点が多いと思うが。
 ■**教育長** 本年6月定例議会において関係条例の可決をいた

だき、H23年4月の統合に向けて諸準備を進めている。財源については、交付税措置の高い有利な起債（過疎債・学校教育施設等整備事業債）であるので、町財政への影響は少ないと考えている。

Q 旧役場跡民地の裁判費用は
 A 弁護士費用は訴訟費に含まれない

●**岡田** H21年5月28日に民地の所有者の勝訴という判決が出たが訴訟費用は被告が負担するとあり、町としての対応は。

■**町長** 訴訟費用はすべての費用を含むわけではなく、収入印紙や郵便料などは該当するが、弁護士費用は訴訟費用に含まれない。
 申し立てにより裁判所が費用負担額を決定し、請求があった場合は、負担する必要があると考えている。



地域管理の防犯灯

Q どうなった防犯灯管理

A H23年までには対応する



松本秀治議員

●松本 防犯灯の管理に関しては合併して今なお、旧甲山は地元管理、世羅・世羅西は町の管理で、統一されていない。平等性という観点から早期の改善を望むが、執行者としての考えを伺う。

■町長 合併前の取り組みの違いから、現段階においても、明確な対応の方向性を出していない。現在、防犯灯を町が設置したものと、地域が設置したものの設置数・設置場所を調査している。特定の地区の防犯灯という位置づけでなく、地域全体のものであるという観点から、地域全体で考えていただき、管理方法・設置

場所を自治組織や防犯組合組織で論議していただきたい。

Q 解体費の積み立ては公共施設整備基金の積み増しで対応

●松本 当町に限らず

公共建築物が多く存在する。建築物には耐用年数があり当然、解体という問題が発生し多額の費用が必要になる。

Q 野積み肥料・産廃物の安全は屋内保管を求めている



豊田 勲議員

●豊田 野積み肥料への6月以後、町の指導と企業の対応は。新たに野積みをする

長期を見すえ、発生するであろう解体費用の積み立てを提案する。

■町長 利活用が望めない老朽化した建築物の解体費用に関しては一件当たり数千万かかる。複数となると単年度での実施は財政上困難で、数年かけて計画的に実施する必要がありと考える。財源は現在ある公共施設整備基金の活用が可能であるので積み増しを検討する。

には町へ届け出と、地元住民の同意を得るよう条例の改正を。

■町長 UVカットシートは2年で劣化する。業者に公害防止報告を求めているが、野積みすると廃棄物になる恐れもあり屋内保管を求めている。



被覆された野積み肥料

条例改正は、関係法令とのバランスを考え検討したい。

Q 生活困難者に無料低額診療事業導入を中央病院に導入は困難、受診相談と生活相談は支援

●豊田 生計困難者が

増加しており、国保税と後期高齢者医療保険

料で減額・免除するものの収入は低い。町内で無料か低額で受診できるよう検討を。

■町長 事業の意義は大きいですが、世羅中央病院には認定条件や、病院経営に影響を及ぼし導入は難しいと思う。生活困難者の受診や生活上の相談など、医療機関との連携により生活支援に応じる。

Q

休園中の旅行村の行方は

早期再開を目指し努力する



仙光保喜議員

人たちは、一日も早い開園を待ち望んでいる。

6月の時点では、「直営、指定管理、譲渡、閉鎖の検討、あるいは地元管理は可能かどうかなどの選択肢を洗い出し、できるだけ早く方針を決定するよう協議を行っている」と答弁された。

現状では、選択肢4つの中の事実上閉鎖状態にあり、



どうする本格再開

この状態も今年度中だけで、いずれかの結論を出さなければいけない。今がその時期で早い方針決定をして、次の段階への対応が必要

と思う。

進捗状況と今後の方針を伺う。

■町長 せらにし青少年旅行村は、青少年の健やかな成長を願って建設された。長年にわたり地域活性化の拠点として、地域の皆様に親しまれ、支援を頂いている施設である。

現在、町は早期再開を目指し、地元地域に対して管理運営の可能性について検討を願っ

ている。今後、このこ

とが困難な場合には、これまで現地踏査や説明を求めている複数の会社を含め、新たな指定管理者を公募する。一方、管理者が決定する当分の間については町の直営で再開していきたいと考えている。

本来の目的にそって将来にむけて、持続可能な経営のあり方を求めて一生懸命努力していく。

Q

特別支援教育の体制整備は

適正な就学指導に努める



永田英則議員

通学対策⑤放課後児童クラブに障害児の受け入れは可能か。

■教育長 ①児童に適正な就学指導に努めた②特別な配慮のもとに編成された学級であり、通常学級での学習ベースで考える③特別支援教育を柱として重度障害者教育の実現に

努力する④通学バスの乗車困難な児童生徒は原則保護者で送迎⑤児童の受入れ可能。

Q

選挙投票区の見直しは

基準を定め説明

●永田 投票所を大幅に削減されるが次のことを伺う①投票所削減の根拠と説明は②高齢者、障害者の交通手段確保③電子投票導入の研究を④投票所に手話通訳の派遣を

■町長 ①町全体の均衡を図り、見直し基準を定め、説明は町広報やケーブルテレビ、ホームページでしている

②駐車場の確保やバリアフリーを考慮。施設も変更。巡回バスを運行して投票率の低下を招かない努力をしている③現段階では考えていない④体制整備は要望があれば、選挙管理委員会でも検討される。

Q

県営事業の負担金は条例で定め

A

●永田 国・県公共事業負担金条例により求められていることについて①使途明細のない支出はないか②請求内容を調査せずに支払いをしていないか③公共事業負担とは。■町長 ①明細提示はないが、事業費内訳は伺っている②詳細な調査は行っていない③地方財政法に基づき、県事業負担金条例で定め



特別支援学級